

東葛地区親睦少年野球大会・大会要項

平成11年10月改正

平成18年一部改定

- 大会名** 夏季大会：東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季大会：東葛地区親睦少年野球卒業記念大会
- 主催・主管
後援** 東葛地区親睦少年野球大会運営委員会
ダイワマルエス株式会社
マクドナルド東葛地区協賛店
柏リトルシニア野球協会
- 開催期間** 夏季大会：毎年8月最後の日曜日を最終日とし、その前の週の日曜日を初日、最終土曜日を二日目とする三日間。但し、雨天などで中止となった場合は、9月上旬の土曜日・日曜日を予備日とする。
冬季大会：毎年12月の第一日曜日を初日として、以降第二・第三の三日間。但し、雨天などで順延になった場合は祝日を予備日とする。
- 目的** 東葛地区各市町の親睦を図ることを主な目的として、交流を通じて青少年の健全育成に注力する。
- 出場資格** 夏季大会：単独チームで3年生から6年生までの編成によるAチームのみ。但し、メンバー多数で2チーム出場希望の場合は、役員会に回り承認され場合に限り認められる。
冬季大会：メンバーは全て6年生のみとし、単独チームが編成できない場合には4チームまでの混成が認められる。メンバーが多数の場合は2チームの出場も認められる。なお、出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督、コーチ、選手のユニホーム・背番号も統一しなくても良い。
- 参加チーム** 夏季大会は原則として限度64チームまでとする。出場枠は各市町の割り当てを別途に定める。なお、各市町ごとに交流している各地区チームの出場も認めるが、この場合は当該市町の出場枠を越えてはならない。新規参加市町の出場枠は役員会で決定する。
- 参加会費** 原則として、1チーム5,000円。（但し、特別処置として変更する場合がある。）
- 使用グラウンド** 江戸川河川敷グラウンド(野田市)、流山市運動公園球場(流山市)、上耕地グラウンド(流山市)、大津が丘球場(沼南町)、その他各チームから提供されたグラウンド。
- 審判当番** ①出場チームは理由の如何を問わず、必ず審判当番を行う。
不履行の場合はペナルティ(失格・次回からの出場停止・その他)が課せられる。
②当番審判員の服装は、審判服又は、当該チームのユニホーム及びトレーニングウェアとし、短パン(夏季)、サンダル履きは厳禁。帽子は必ず着用すること。
★審判当番者は試合開始に際して、必ずグラウンド整備(準備)をする。なお、当該試合チームもこれに協力することを義務付ける。

- ③大会初日、二日目の審判は当該チームが行い、最終日は原則として役員が務める。
但し、役員が不足した場合は、試合のないチームの協力を仰ぐ場合がある。
- ④審判当番チームは、必ず審判道具を持参すること。
- ⑤審判当番は各チームとも原則として2名とし、ローテーションは以下の通りとする。
- a. **一日一面で4試合が行われる場合。**
第一試合の審判は第二試合のチーム、第二試合の審判は第一試合のチームが担当する。第三試合及び第四試合の審判もこれに準ずる。
- b. **一日一面で4試合の場合(第三試合・第四試合にシードチームが入った場合)。**
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合は第一試合の負けチームと第四試合のシードチームが、第四試合は第二試合の負けチームと第三試合のシードチームが行う。
- c. **一日一面で3試合の場合(同じ条件の組み合わせ)。**殆どが初日の試合
第一試合の審判は第三試合のチーム、第二試合は第一試合のチーム、第三試合は第二試合のチームがそれぞれ行う。
- d. **一日一面で3試合の場合(勝利チームがダブルヘッダーの場合)。**大会二日目
第一試合と第二試合はa項同様に交互に行うが、第三試合については第一試合・第二試合の負けチームが行う。(通称：負け残り審判)。
- e. **その他組み合わせが変則となった場合**
大会本部役員で協議し、別途指示する。
- ⑥審判当番者は、試合終了後必ずスコアカード(記録用紙)に、得点経過・審判氏名(フルネーム・チーム名)の記入を義務付ける。
- ◇最終試合の審判はスコアカード記入後、グラウンド責任者に提出する。グラウンド責任者は速やかに事務局に報告してください。

- 大会規定** 最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定(含むグラウンドルール)を適用する。
- ①全試合7イニング制とする。(但し、時間・コールドゲームを適用する。)
- ②試合時間はシートノックを除き**1時間30分**。それ以上経過して同点の場合は**特別延長ルール(1死満塁、前回最終打者の次打者より攻撃)**を適用する。
なお、シートノックは各チーム5分以内とする。
- ③コールドゲームは**3回以降10点差、5回以降7点差**で成立する。
但し、決勝戦のみコールドゲームの適用はしないが、時間は適用する。
なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルールを適用する。
- ④試合が7回終了して時間があっても延長戦は行わず、特別延長ルールを適用する。
7回を終了しなくても、時間に達した場合も同様とする。
- ⑤その他、グラウンドルールは当該グラウンドの特別ルールを適用する。
- ⑥ベンチは若番が1塁側とし、先攻、後攻はジャンケンで決める。
- ⑦大会使用球は、マルエスボールC号。
- ⑧投手の投球回数を一試合5イニング(15アウト)までとし、一日10イニング(30アウト)までとする。

◆冬季大会<卒業記念大会>特別規則 [六年生大会]

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。

指名代打(DH)2名を必ず加え、攻撃は11名で行うことを義務付ける。

指名代打は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかいない時はDH制の適用を除外する。

◆卒業記念大会に出場するチームの監督は、事務局が用意したリボン付ける事を義務づける。リボンがない場合は監督と認めない。ゆえに抗議権等認めない。

表彰 優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰のみ。個人賞はなし。

補 足 事 項

- * 1. 服装は選手及び指導者(ベンチ入りコーチ3名)のユニホーム着用を義務付ける。但し、代表者、スコアラーはこの限りではない。選手と指導者のユニホームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。但し、冬季大会はこの限りではない。なお、ベンチ入り出来る指導者は5名までとする。
- * 2. 選手及び指導者は必ず帽子の着用を義務付ける。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチャーともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
- * 3. 冬季大会については、審判及び役員が認めた場合に限りジャンパー、グラウンドコート着用でのプレーが許される。
- * 4. 応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員(試合当事者でも可)は直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。
- * 5. 夏季・冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。(ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1~2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。)
* 試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。
- * 6. 開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗(規格は特に定めない)を持参すること。
- * 7. 入場式では、出場チームの指導者1名(ユニホーム着用)は必ず最後尾に参列する。
- * 8. ベスト4に進出したチームは、団体写真(出来れば表彰式の後のもの)及び試合中のスナップ写真と監督の感想文の提出を義務付けます。提出は事務局又は会長(山田)まで。写真・感想文は返却できませんので必要なら複写してください。
- * 9. 抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名(フルネーム)・電話番号・携帯番号(持っている人は)を必ず届け出ること。代理抽選の場合も同様とする。
- * 10. シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。
- * 11. グラウンド提供及び用具の提供を各チームにお願い致します。(バックネットセット・ベース・ピッチャープレート・メジャー・ラインカー・石灰・トンボ・得点版・チョーク)。